

# 情報技術による都市の活性化 技術トレンドと地域固有のニーズ

大沢 英一

公立はこだて未来大学

# 函館市の特徴

建築施設設備 (ハードウェア) 面での整備を優先

# 函館市の特徴

## 建築施設設備 (ハードウェア) 面での整備を優先

- 新市立函館病院, 臨空工業団地 (テクノポリス)
- 未来大学設立, 空港整備, 駅周辺区画整理再活用
- 総合保険センター, 中央図書館
- 港湾埋立地 -緑の島- の活用 (水族館, 海洋科学館)
- 函館ドックの活用 (函館国際水産・海洋都市構想拠点)
- 函館奉行所, 総合保険センター

# 函館市の特徴

## 建築施設設備 (ハードウェア) 面での整備を優先

- 新市立函館病院, 臨空工業団地 (テクノポリス)
- 未来大学設立, 空港整備, 駅周辺区画整理再活用
- 総合保険センター, 中央図書館
- 港湾埋立地 -緑の島- の活用 (水族館, 海洋科学館)
- 函館ドックの活用 (函館国際水産・海洋都市構想拠点)
- 函館奉行所, 総合保険センター

⇒ 情報基盤の整備不良により相互活性化が困難

## 函館市が抱える課題

- 長引く地域経済の低迷と雇用の悪化 (北洋漁業の衰退)
- 急速な少子高齢化の進行と人口の減少
- 既成市街地の空洞化
- 陸海空の総合交通体系の整備
- 地方文献時代や新世紀に対応できる効率的で市民の信頼に足る市行政の実現

## 改善策 (案)

- 長引く地域経済の低迷と雇用の悪化
  - 新産業の創出 (高度情報化水産業, 観光情報業)
  - (情動的付加価値による) 消費の拡大
- 急速な少子高齢化の進行と人口の減少
  - 新産業の創出 (若い世代を対象とした雇用の創出)
  - 教育システムの充実
  - 老人福祉介護の高度情報化
- 既成市街地の空洞化
  - ベンチャ企業誘致による新産業コンプレックスの育成
- 陸海空の総合交通体系の整備
  - 観光および産業的活力の向上
- 地方文献時代や新世紀に対応できる効率的で市民の信頼に足る市行政の実現
  - 市民と行政のパートナーシップの確立

## 函館市が抱える課題

- 長引く地域経済の低迷と雇用の悪化 (北洋漁業の衰退)
- 急速な少子高齢化の進行と人口の減少
- 既成市街地の空洞化
- 陸海空の総合交通体系の整備
- 地方文献時代や新世紀に対応できる効率的で市民の信頼に足る市行政の実現

⇒ 情報基盤の構築と街の高度情報化が不可欠

# 都市生活の高度情報化

- 電子政府，電子投票，世論形成支援システム (◎)
- 電子商取引 (○)
- 高度道路交通システム (◎)
- コミュニティ支援 (◎)
- 観光情報システム (◎)
- 都市設計
- 景観シミュレーション (○)
- 防災シミュレーション (○)
- 教育支援 (双方向教育ネットワーク・データベース)(◎)
- 高度情報化住宅
- 在宅医療サービス，在宅介護 (◎)

# 新情報基盤の確立

- 高度道路交通システム
  - 高度情報オンデマンドバス
  - モバイル端末による交通情報提供
- 観光情報システム
  - モバイルネットワーク (パイロットシステム)

## 技術トレンド (通信形態)

---

- いつでも
- どこでも
- あらゆるメディアに
- 双方向で
- 高速に
- 大量に
- 信頼性高く
- パーソナライズされた
- 最新の情報を

# 技術トレンド (交通輸送網)

## 都市間

- 安全に
- 快適に
- 速く
- 安く
- 大量に
- 省エネルギー

## 都市内

- 安全に
- 安く
- 自由に
- 快適に
- 効率よく (最適化 知能化)

## 技術トレンド (娯楽)

---

- デジタル化
- 高インタラクティブ性
- 高精細化、リアル化
- 知能化, 学習機能
- ネットワーク通信 (双方向性)
- 継続性

## 技術トレンド (住居)

- ホームネットワーク
- センサネットワーク
- インテリジェント化 (自動制御)
- 省エネ化
- 介護システム, 高齢者・身障者支援機能